

第2期茨城県県北地域基本計画の概要

計画のポイント

本県の県北地域は、電機・環境・エネルギー、自動車・建設機械、生活関連産業などのものづくり産業の集積や大学、J-PARCなどの施設の立地が進んでおり、その地域特性を活かして、次世代自動車や新エネルギーなどの成長ものづくり分野やデジタル分野などへの参入を促進するとともに、広域交通ネットワークや観光資源などの強みを最大限に活用して継続的に新たな価値を創出し、地域経済の活性化と雇用創出を目指す。

促進区域

日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村及び大子町（茨城県県北地域）

経済的効果の目標

1件あたりの平均59百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を10件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.28倍の波及効果を与え、促進区域で755百万円（第1期(400百万円)とあわせて1,155百万円）の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～⑤のいずれか）】

- ①電機、自動車・建設機械、医薬・衛生用品等の産業の集積を活用した成長ものづくり分野
- ②国立大学法人茨城大学や電気機械、情報・通信機械事業者のIoTやロボット等の技術を活用したデジタル分野
- ③東海村に所在する大強度陽子加速器施設（J-PARC）の最先端科学技術を活用した成長ものづくり分野
- ④常磐自動車道、北関東自動車道、茨城港等の広域交通インフラを活用した運輸・物流関連産業分野
- ⑤自然景観（八溝山・久慈川・那珂川・袋田の滝等）、文化遺産（旧上岡小学校・六角堂等）、郷土料理（あんこう料理等）、地場産品（常陸秋そば等）、様々な体験・イベント（国営ひたち海浜公園のネモフィラ・竜神大吊橋のバンジージャンプ等）などの観光資源を活用した観光分野

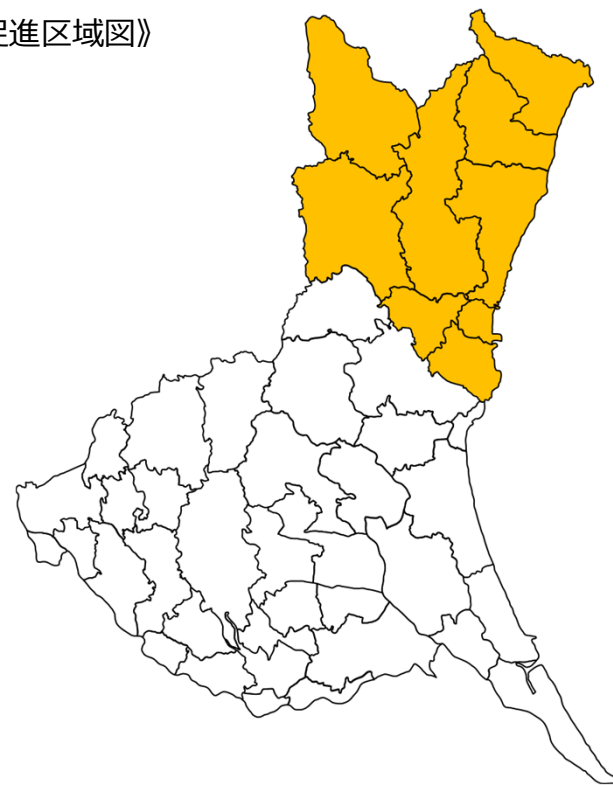
【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：5,917万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 取引額：1%増加
- 雇用者数：9.5%増加
- 売上：1%増加
- 雇用者給与等支給額：8.9%増加

《促進区域図》



《県産業技術イノベーションセンター「模擬スマート工場」》



制度・事業環境の整備

- ・固定資産税の減税措置の検討、成長ものづくり分野・デジタル分野・観光分野などでのデジタル田園都市国家構想交付金の活用
- ・茨城県産業技術イノベーションセンターが有する技術情報等の提供や機能強化の検討
- ・スタートアップや研究開発・販路開拓、人材育成・確保、DXの促進等への支援

地域経済牽引支援機関

茨城県産業技術イノベーションセンター、（公財）いばらき中小企業グローバル推進機構、（株）ひたちなかテクノセンター、（公財）日立地区産業支援センター 等

計画期間

本計画の計画期間は、計画同意の日から令和10年度末まで